

「令和6年度 北陸の海と港の技術情報交流会」を開催

- 令和6年10月31日（木）、新潟港湾空港技術調査事務所を本会場として、「令和6年度北陸の海と港の技術情報交流会」を開催し、本会場、サブ会場及びWeb聴講を含めて213人（職員56人、大学25人、民間132人（内、CPDS受講41人））にご参加いただきました。
- 本交流会は、「民間企業で開発した新技術を管内の港湾・空港等のインフラ整備に有効活用するための情報収集」、「北陸管内の大学による研究発表」及び「当事務所における技術開発動向の説明」により、産学官の技術情報の交流を深めることを目的として、今年度は民間企業や北陸管内の大学として新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、富山県立大学、金沢大学、金沢工業大学、福井大学、福井工業大学にご参加いただき、民間企業15題、大学5題、当事務所1題の計21題の発表が行われました。
- 開催後のアンケートから、「多岐にわたるテーマで非常に興味深い発表が多く、今後も参加したい」、「今後の研究の参考にしたい」等の感想をいただきました。本交流会についてはアンケート結果を踏まえて、次年度以降の開催を検討してまいります。



千葉所長による開会挨拶



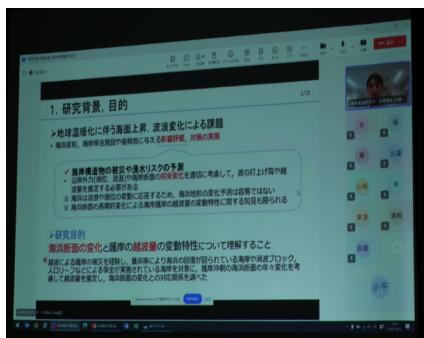
新潟技調事務所による発表



大学院生による発表



民間企業による発表



Web参加者による発表



本会場の様子

■当日のプログラム

- | | |
|--|-------------------|
| 1 能登半島地震における矢板式係留船岸の被害と健全度評価 | 新潟港湾空港技術調査事務所 |
| 2 沿岸外力と海浜地形の長期的変化に伴う海岸護岸の越波量の変動特性に関する研究 | 金沢大学大学院 |
| 3 令和6年能登半島地震における富山での津波調査より明らかとなった課題 | 富山県立大学大学院 |
| 4 ゴム混合コンクリートのゴム粒径と水セメント比が力学特性に与える影響の評価 | 富山大学大学院 |
| 5 新潟県沿岸域の港湾における長周期波の港内振動特性についての研究 | 長岡技術科学大学大学院 |
| 6 全球気候モデルCESM2による海氷の将来予測の分析と今後の展望 | 新潟大学大学院 |
| 7 人工排水材を用いたボイリング被害抑止（SBDS）工法の開発 | 東亜建設工業株式会社 |
| 8 OpenFOAMを利用した3次元波浪シミュレーション | いであ株式会社 |
| 9 サブプレオフレームによる防波堤補強及びブルーインフラ機能の向上 | 日建工学株式会社 |
| 10 気候変動による海面上昇を考慮した長期海浜変形予測における不確実性の影響について | 株式会社エコー |
| 11 海洋観測ドローン「Penta-Ocean Vanguard-DroneAqua」の開発について | 五洋建設株式会社 |
| 12 電気伝導率コーン（WIT-ec-CPT）によるセメント系固化改良地盤の品質・出来形の可視化 | 若築建設株式会社 |
| 13 S・MIX工法 ～硬質地盤・低変位に対応した深層混合処理工法～ | あおみ建設株式会社 |
| 14 全方位高圧噴射攪拌工法（MJS工法） | 東興ジオテック株式会社 |
| 15 プレキャスト嵩上げブロック工法「かさ上げくん」 | ケイコン株式会社 |
| 16 地域生態系に配慮できる自然回復緑化技術 | 東興ジオテック株式会社 |
| 17 港湾構造物の生物共生効果の向上技術 | 株式会社不動テトラ |
| 18 環境対策型中継ポンプ船「越後9000」の脱炭素化に向けた取り組み | 株式会社本間組 |
| 19 SAR衛星を活用した構造物等のモニタリング | パシフィックコンサルタンツ株式会社 |
| 20 屋根瓦を原料にした環境にやさしいリサイクル地盤材料と国土強靱化 | みらい建設工業株式会社 |
| 21 衛星SARを用いたインフラメンテナンス技術の紹介 | 基礎地盤コンサルタンツ株式会社 |